

数千万人虐殺の戦犯天皇を「祝え」だと！ リビアへの侵略戦争で血ぬられたレガンガチャーを「歓迎」だと！

もう許せないうちの中曽根の戦争政治

中曽根は、天皇六〇年式典、東京サミット、参院選―三選―国鉄分割・民営化をもって「戦後政治の総決算」を強行せんとしている。この反動プランを打ち破り、中曽根を打ち倒すことこそ国鉄分割・民営化―十万人首切り阻止の道だ。首切りと生活破壊をもって再び天皇の名のもとに労働者を戦争にかり出さんとすることなど、どうして許せるか。怒りをこめ四・二九天皇六〇年―五・四東京サミット粉碎へたちあがれ。

戦争賛美の天皇六〇周年粉碎

天皇在位六〇年式典とは、第二次世界大戦で日本人三〇〇万、アジア人民五〇〇〇万を虐殺し、現在においても差別・排外主義の元凶である戦犯天皇を賛美し、再び天皇のために命を投げだすことを労働者人民に要求しようというものである。そもそも天皇は、超一級の戦争犯罪人である。日本帝国主義は、天皇の名のもとに天皇の承認のもとに労働者人民を戦争に引きこみ、死と抑圧を強制し、さらに朝鮮・中国・アジア諸国への凶暴な侵略を強行し、言語に絶する殺りくと収奪を繰り返したのだ。ところが『軍人勅諭』で降伏も捕虜になることも許さなかつた天皇自身は、沖繩をアメリカに売りわたすことによつて生きのび、今日、戦争責任をいなおし、今また歴史の正面に出ようとしている。こんなことを許してはならない。

天皇の名のもとに戦争体制づくり許すな

この間、中曽根は、天皇六〇年式典を前に次のような発言をおこなっている。「天皇は平和主義者」、「天皇制を大事にしてきているがゆえに今日の繁栄がある」あるいは、「天皇制に異をたてる者は国家転覆という気持ちを持つている」と。ふざけるな！ 何んという事実の歪曲。天皇の侵略と戦争の歴史を肯定し、賛美し、天皇の命に従わぬ者は「非国民」として弾圧し、物も言えない情況をつくり出し、戦争へかりたてて行った歴史を再び繰り返そうというのだ。そのためこそ、七十億円もかけて首都戒厳令をしき、労働者・人民の声をおしつぶさんとしているのだ。

分割・民営化阻止へ中曽根プランを打ち破れ

天皇在位六〇周年は、そもそも十一月である。それをわざわざ四月に行うなかに中曽根の狙いは

明白だ。

中曽根は、四―五月天皇―東京サミットで当面する政局を切りぬけ、衆参同時選挙の勝利で三選の道をひらき―今秋国鉄国会―来春国鉄分割・民営化―日本労働運動の解体の実現をもって戦後政治の総決算を狙っている。今日の革マルを使った「真国労」デッチ上げもこうしたスケジュールに合わせ、国鉄労働運動の解体を目指したのと言えらる。

われわれは、戦争賛美に沈黙し、容認することはできない。そして何よりも、そのために職を奪われ、生活を破壊され、十万人もの首を切られることを許せない。

四・二九―五・四に総力決起し、中曽根の反動プラン粉碎！国鉄分割・民営化阻止の突破口を切り拓こう。

全力で 4.29 5.4 集会へ

天皇在位60年式典粉碎！ 東京サミット粉碎！
中曽根内閣打倒！

- 4月29日 10時 東京・いきせん公園
- 5月4日 10時 東京・宮下公園

米、リビアを攻撃

この戦争屋どものうちくだけ！ 抬頭を！

真国労 速報 No. 19

革マルが、手上げた 分裂・産報 化組合

大政 費 会

堅忍持久 忠告 報 國 一 致

中曽根 レガン